

医療・介護をシームレスに 提供する体制の構築に向けて

平成26年8月29日

医療介護総合確保促進会議

日本医師会副会長 今村 聡

医療・介護のシームレスな提供体制の構築 ～政策・制度の全体像～

医療・介護の統合的な計画の策定と、医療・介護を対象とした財政支援制度

■ 地域での効率的・質の高い医療の確保

○ 病床の機能分化・連携

- ・ 病床機能報告制度、地域医療構想（ビジョン）
「協議の場」

○ 有床診療所等の役割の位置づけ

- ・ 患者が住み慣れた地域で日常生活を営むことができるよう、在宅への円滑な移行、在宅医療の提供、急変時の入院対応、その他地域で必要な医療を確保

○ 在宅医療の推進、介護との連携

- ・ 医療計画の策定サイクルの見直し（5年→6年。在宅は3年ごとの中間見直し）
- ・ 医療計画での在宅医療、介護連携の記載充実

■ 地域包括ケアシステムの構築

○ 地域支援事業の充実

- ①在宅医療・介護連携の推進 ②認知症施策の推進
- ③地域ケア会議の推進 ④生活支援サービス充実・強化

○ 全国一律の予防給付（訪問介護・通所介護）を市町村が取り組む地域支援事業に移行し、多様化

○ 特別養護老人ホームの「新規」入所者を、原則、要介護3以上に重点化

■ 医療・介護従事者の確保（抄）

- 地域医療支援センターの機能の位置づけ
- 医療機関の勤務環境改善
- 看護師等免許保持者のナースセンター届出制
- 介護従事者の確保

（新たな基金による対応、27年度介護報酬改定で検討）

地域の様々な医療・介護資源を把握し、適切にコーディネートでき、ワンストップで患者・要介護者や家族に対応できる人材養成が重要

医療・介護のシームレスな提供体制の構築 ～実現のための3つの施策の柱～

1. 医療・介護の総合的な窓口機能 ～ワンストップで多様な相談・問題に対応～



健康のこと、介護のこと、悩みごと...
何をどこに相談したら良いのでしょうか？



様々な高齢者支援サービスがあるけれど、
どういう時にどこに行けば良いのかな？

2. 人材の養成と確保 ～多職種連携・勤務環境改善～

この地域の医療・介護のリソースは
私がコーディネートできます！



この施設は働きやすいので、
ここで地域に貢献していきたいです。



3. 住民・地域・行政への周知 ～双方向のコミュニケーション～



住民の私たちも参加して、
地域の医療・介護体制を作りたい。



私たちにも、どういう時に情報を
共有すれば良いか教えてください。

1. 医療・介護の総合的な窓口機能 ～ワンストップで多様な相談・問題に対応～

Point 1: 求められる機能

- それぞれの**地域の事情**を踏まえ、
- 様々な**医療・介護資源**を把握し、
- それらを適切に**コーディネート**し、
- **ワンストップ**で患者・要介護者や家族の問題・相談に対応できること

Point 2: 実施主体について

新たな機関（ハコモノ）を作るのではなく、**既存の資源（地域医師会、地域包括支援センター等）を活用**すべきではないか。

Point 3: 連携すべき資源 例

地域医師会・歯科医師会・薬剤師会・看護協会・各職能団体、病院団体等
在宅療養支援診療所・病院
訪問看護ステーション
居宅介護支援事業所
通所型・入居型介護施設
歯科診療所、薬局
後方支援病院（地域医療支援病院） など



例：鶴岡地区医師会 在宅医療連携拠点事業室「ほたる」のリーフレット

板橋区医師会在宅医療センター
(複数の機能・組織の連携でワンストップ化を実現)

板橋区医師会在宅医療センター

ごあいさつ お知らせ一覧 板橋区医師会在宅医療センターの役割 在宅医療センター案内地図 平成24年度在宅医療連携拠点事業 研修報告

在宅療養されている板橋区民の皆様
医療・看護のワンストップサービスを提供します。

療養相談室	板橋区医師会高島平訪問看護ステーション	高島平おとしより相談センター 板橋区高島平地域包括支援センター 板橋区医師会高島平介護予防支援事業所	板橋区医師会在宅ケアセンター 居宅介護支援事業所
-------	---------------------	--	-----------------------------

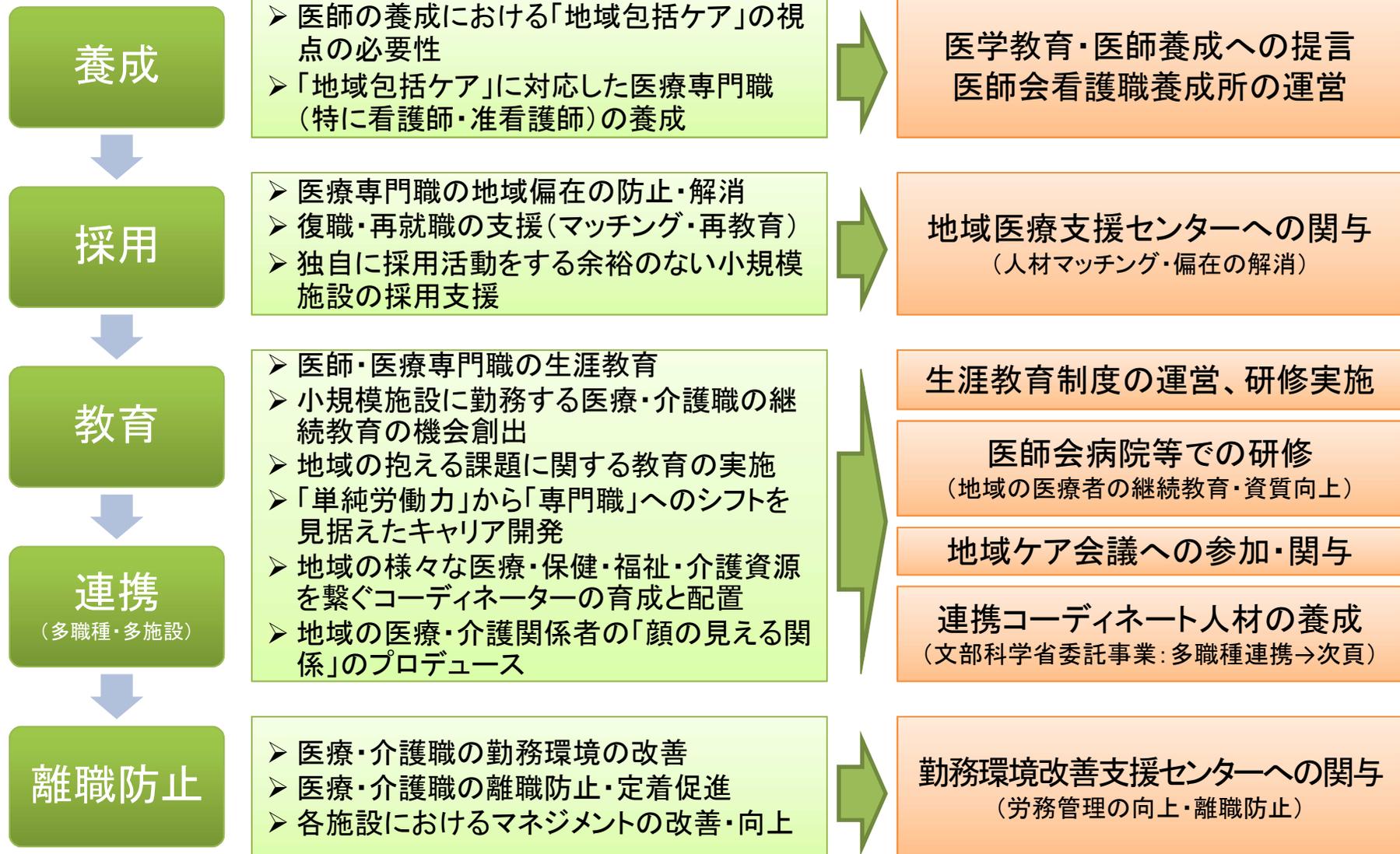
板橋区医師会在宅医療センターは、板橋区医師会の在宅関連機能を集約した組織である。

- 板橋区医師会高島平訪問看護ステーション
- 板橋区医師会在宅ケアセンター(居宅介護支援事業所)
- 高島平おとしより相談センター(板橋区高島平地域包括支援センター)
- 療養相談室(在宅医療連携拠点事業)

地域包括支援センターと在宅療養相談室との連携により、医療・介護のワンストップサービスを提供することが可能となった。病気をもちつつも可能な限り住み慣れた地域で自分らしく暮らすことを支えるため、医療と介護が連携をし、包括的かつ継続的な在宅医療の提供に取り組んでいる。

2. 人材の養成と確保 ～多職種連携・勤務環境改善～

↓主な医師会の活動(一例)↓



診療所・中小病院で働く医療者の 「多職種連携力」を高める教育プログラム開発事業①

受託団体：日本医師会

課題

- 診療所・中小病院は、急性期医療と在宅医療を繋ぐ機能を担い、高い連携機能を求められているが、そこで働く医療者の多職種連携に対する意識はあまり高くない。
- 診療所・中小病院で働く医療者の教育機会の不足がある。
- 地域医師会・医師会病院・医師会看護職養成所などで、多職種連携教育を行う体制が整っていない。

解決手段

- 診療所・中小病院の連携機能を高めるために、地域医師会を中心に、多職種連携に関する現職教育体制を整える。
- 医師会看護職養成所でも学生および現職に対する多職種連携教育を実施する体制を整える。
- 診療所・中小病院で働く医療者の教育・研修のプログラム及び達成目標を作り、普及を図る。



特に看護職を対象に、**地域の様々な医療・介護資源を把握し、適切にコーディネートでき、ワンストップで患者・要介護者や家族に対応できる人材養成のモデル、研修プログラムづくりを目指す取り組み**

診療所・中小病院で働く医療者の「多職種連携力」を高める教育プログラム開発事業②

受託団体：日本医師会

取組内容 (平成26年度)

【アンケート調査の実施：計300箇所】

- ・地域医師会（研修・連携体制整備等の実施状況）：100
- ・医師会看護職養成所（連携教育の実施状況）：100
- ・医師会病院（現職研修・地域向け研修の実施状況）：100

【実地調査・ヒアリング調査の実施：計14箇所】

- ・医師会病院・看護学校等における連携教育への取り組み状況
- ・多職種連携を推進するための阻害要因の把握
- ・地域医師会による連携促進の先進事例紹介

【地域医師会・医師会病院での研修会試行】

- ・医師会病院における地域の医療・保健・福祉関係職向け研修会の実施
- ・医師会看護職養成所の看護教員向け研修プログラムの作成

▶上記調査・試行の結果を踏まえ、教材・プログラム開発の方針を検討。

VISION

多職種連携のコーディネーターをカリキュラム認定を受けた教育機関が育成し、公益団体（日医等）が資格認定を行う。この認定を受けたコーディネーターが、各地の「ワンストップ相談窓口」で連携・調整・研修等の業務を主導する。

成果の活用・ロードマップ



- | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 以降 |
|---|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・調査・実態把握 ・教育プログラムのプロトタイプ作成 ・教材・プログラムの改善に向けた検討 | <ul style="list-style-type: none"> ・教育プログラムの実証 ・教材の体系的開発 ・教員／教育担当者向けの研修開発 | <ul style="list-style-type: none"> ・教育プログラム及び教材の完成 ・全国的な普及啓発 ・持続可能なシステム構築への取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・本会の独自事業として、開発したプログラム・教材を使い、継続的な教育実践を行う |

3. 住民・地域・行政への周知 ～双方向のコミュニケーション～

ワンストップ機能を住民・患者・家族等にPRし、信頼関係を築く必要がある！

住民・患者・家族・地域との コミュニケーションの機会創出

○市民公開講座(例:東京都板橋区→右図)

- 療養情報の提供
- エンドオブライフの啓発
- 地域力(自助・共助)の強化
- 寸劇:退院前カンファレンス実演

○市民参加の「相談窓口の在り方」の検討

○医療系学生等と連携した啓発活動

○地域の祭り・イベント等へのアウトリーチ

○学校・公民館等の他機関との連携活動

などが考える。

板橋区医師会・在宅療養ネットワーク懇話会

区民公開講座 参加費 無料 申込制 250人

日時 平成25年2月9日(土) 午後2:00～4:00

会場 板橋区立文化会館 [小ホール2階]
板橋区大山東町51-1
東武東上線「大山」下車3分、都営三田線「板橋区役所前」下車7分

対象 一般区民、医療・介護従事者

参加費 無料(先着250名)



**住み慣れた地域で！
最期まで安心な療養生活を続けるために！
みなさんを支える仲間が集います！**

「高齢になっても住み慣れた地域で
顔見知りの人たちとすごしていきたい」
そうお考えの方はたくさんいらっしゃると思います。
板橋区はそれを支える仲間や施設が豊富な地域です。
当日は、みなさんを支える仲間たちをご紹介します。
最期まで安心して暮らし続けられるための情報をお伝えます。
どうぞ奮ってご参加ください。

プログラム

司会 板橋区医師会 在宅部理事 岩田 光正
挨拶 (14:00～14:05)
板橋区医師会 会長 天 木 聡

第一部 (14:05～14:20)
◎在宅医療連携拠点センター事業について
板橋区医師会在宅医療センター在宅看護部長 井上 多鶴子

第二部 (14:20～15:05)
◎寸劇「退院前カンファレンス」
退院後の療養を支えるための準備とは！
在宅療養ネットワーク懇話会 (区内多職種参加)

第三部 (15:15～15:45)
◎講演「摂食支援について」(仮題)
渋谷徳科医院 渋谷 英介先生

総括
開会 板橋区医師会 副会長 長澤 義久

主催 社団法人板橋区医師会
在宅療養ネットワーク懇話会
後援 板橋区
協成 在宅医療連携拠点事業

URL <http://www.ttb.tokyo.med.or.jp>
お申込みは裏面をご覧ください。

区民公開講座

寸劇+

退院前カンファレンス デモンストレーション

